

phase out

～段階的に廃止する～

日本の書類・印鑑の文化はテレワーク推進の障害の1つといわれています。

以前、中国の方と家の売買契約をしたとき「中国では契約書は全部サインですよ」と苦笑されました。今や銀行も印鑑届なしで口座開設できます。電子契約が当たり前の時代が目の前に来ているのかもしれないね。

Some companies have begun **phasing out** the use of seal.

企業の中には、印鑑の使用を段階的に廃止し始めたところがあります。

phase out (段階的に廃止する) というフレーズです。phase (段階) は仕事でも phase 1、phase 2 のように使われますが「段階的に行う」という動詞の用法があります。それに out がつく「段階的に廃止する」です。

fade out (音・明るさが徐々に消えていく) と似ていて紛らわしいですね。

A legally-binding electronic signature will be **phased in** over the next six months.

企業の今後6か月かけて法的拘束力のある電子署名手続きが段階的に導入されます。

phased in は「段階的に導入する」。out を in に替えるだけで逆の意味になります。

契約書へのサイン(署名)は signature、電子署名は electronic/digital signature です。英語の sign は動詞なら「署名をする」(sign the contract) ですが、名詞は標識・表示 (no smoking sign、road signs)、兆候 (signs of recovery) で、「署名」の意味はありません。なお、autograph は芸能人などからもらうサインのこと。

legally binding は「法律的に縛りのある⇒法的拘束力のある」。契約交渉でよく出てくる言い回しです。

The situation is tough, but it's just a **phase** I have to go through.

状況は厳しいですが、このくらいの試練は乗り越えないといけないんです。

名詞 phase (段階・局面) を使った例文です。just a phase の just によって「～にすぎない」、「このくらいの、この程度の」というニュアンスが加わり、「乗り越えなければならぬ局面のひとつにすぎない」→「このくらいの試練は乗り越えないといけない」となります。

もちろん phase はポジティブな文脈でも使われます。「会社は成長期に入った」なら The company has entered its growth phase. となります。

単語・熟語チェック

seal 印鑑

legally-binding 法的拘束力のある

electronic signature 電子署名

go through (困難などを) 切り抜ける